

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	神戸市・神戸市立清風公民館 電話： 078-371-3319
----------------	-----------------------------------

1. 概要

事業名	公開講座Ⅱ「子どもの健全育成を願って」
主催(共催)	清風公民館
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	平成16年9月22日(水)・1回 参加人数117名
開催場所	清風公民館体育室
対象	一般
人権課題	子ども

2. 事業内容

(1)事業の目的 公開講座にすることによって、広く市民に聴講することができる。また、一般の方にはなかなか話を聴くことができない子ども家庭センターの所長に来ていただくことで、子ども家庭センターのことを多くの方に理解してもらうことを目的とした。これによって、子どもを取り巻く環境を自分はどうすればいいのかを考えさせる。
--

(2)事業概要 子どもを取り巻く社会状況は非常に厳しい状況にある。子どもの教育とは学校においてのみならず、家庭や地域の協力によってなせるものである。それを教育現場、特に、学校不適應を起こしている生徒を目の前で見ている子ども家庭センターの所長に来ていただき、今、学校はどうなっているのか。家庭はどうすべきなのか。地域でできることは？を中心に講演をしていただくことを目的に公開講座を行なった。広く市民に理解を得るために、参加費も無料で行なうことにした。
(2)-1 連携状況 子ども家庭センター
(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む) 学校PTAにチラシを配布して、多くの市民に訴えた。
(3)参加者の反応・事業の反響等 参加者はなかなか話を聞けない方からの講演だったので、非常に新鮮な気持ちで講演を聴いていた。質疑お言うとの時間には、多くの参加者から質問が出た。自分の身近な子どもに学校不適應の子がいるなど、実際に身につまされる話も出ていた。
(3)-1 反省点・今後の課題 チラシを配った割りに参加者が少なかったのは、学校関係の行事と重なっていることが多かった。時期を考えること、また、日頃、本当に悩んでいる親や学校に聞いてほしいので、実施時間なども考慮に入れたい。